

(茶色で着色された場所)。つまり、この鉄道整備と相まって宅地開発が進められたことがわかります。

図2は昭和四年の住之江公園周辺の地形図です。

図1の土地区画整理組合見取図と見比べますと、住吉川以北では土地区画整理組合が結成される前から既に宅地整備が行われていることがわかります。一方、南側でも御崎土地区画整理予定地の区域では水田から宅地転用前の荒蕪地に変わっていることが見て取れ、宅地開発が進められていたことがわかります。つまり、住吉川以北と、以南の御崎土地区画整理区域では宅地開発が決まっていた、公園拡張区域にはなりにくかったことがわかります。議会(口)の答弁では、「拡張の土地は現在の公園より約十町程離れています。なるべく近い所を求めたが費用の関係と、そのほかに面積等から、又土地の位置等」と説明しています。当時の状況を見ますと、宅地開発が行われていない水田地で、住吉公園から近いということから考えて、住之江公園の候補地はこの場所しかなかったと言えます。

また、土地区画整理組合見取図では、昭和十年代に組合結成した区域は住之江公園を囲むように位置している

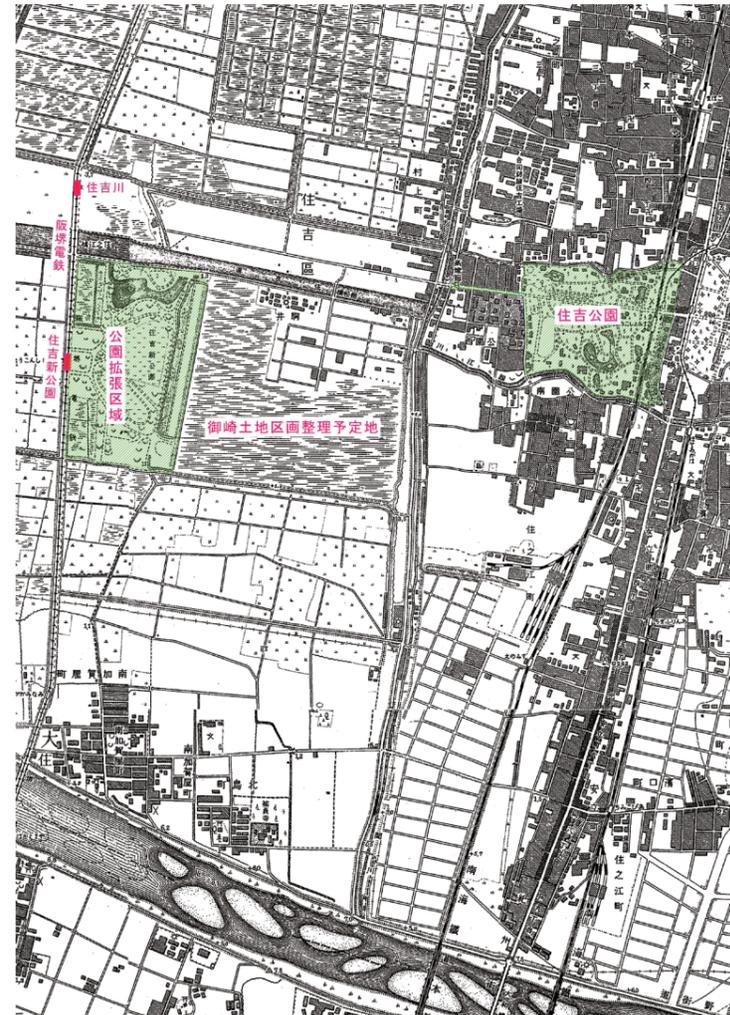


図2 国土地理院の昭和4年地形図に住吉・柴谷・堺東部・堺西部を合成したもの

見受けられます。昭和四年には既に宅地開発が進められ、その後土地区画整理の手法で宅地開発が始まり、その中心に公園という都市施設、集客施設を持つてきたように見えます。つまり、住吉公園の拡張と言いつつ、宅地開発を促進するための集客施設として住之江公園が設置されたとも言えるのではないのでしょうか。このように、阪堺電鉄の昭和二年十月開通、昭和初期の宅地開発、同十年代の土地区画整理組合設立の経過から考えると、大正十五年に大阪府が用地買収、公園整備を行ったことが得心できます。

最後に、誰が主体で住之江公園をあの場所に誘致したのか、考えられるのは、大阪府や地主、阪堺電鉄、大阪市などです。単独が関係者が協議して決めたのかわかりませんが、当時は鉄道会社を利用者増加のために集客施設をつくったことが良く知られています。歴史的に古いところでは、京阪電鉄の「枚方遊園」や大阪鉄道(現在の近畿日本鉄道)の「玉手山遊園地」などが知られています。関西の電鉄会社の多くは沿線の先行投機を指向しており、阪堺電鉄も本社のある住吉川電停で賃貸住宅経営を始めており同じ傾向があったようです。阪堺電鉄が主体となり、地主と共に誘致し、公園管理者の大阪府や街づくりの大阪市も関わったのかもしれない。ただ、大阪府議会の記録では地主

住吉公園一五〇年記念事業

歴史探訪

第17号



発行日:2023年12月1日(季刊:3月・6月・9月・12月発行) 明治6年に開設して150周年を迎えた大阪府営住吉公園の歴史探訪誌として、2018年12月から季刊で第16号まで発行してまいりました。2023年7月刊の『住吉公園と住吉さん』編纂による一時休止後、2023年12月より再刊しました。ぜひとも住吉公園、大社界隈の悠久の歴史地理をご堪能ください。

住吉公園の原風景を 彩る生物たち

日本の植生は、その地域の気象と土壌によって定まっています。火山や土砂崩れなどで形成された植物の無い状態から、草本類の侵入が始まり、土壌が形成され、かん木や高木が続いて生育し、常緑・落葉の広葉樹に針葉樹を交えた森林(極相林と言ふ。)に遷移して行きます。

関西の内陸部では、照葉樹と呼ばれるカシ・シイ類やツバキ・クスノキの仲間を主体とする常緑広葉樹に、クヌギ、サクラ、モミジなどの落葉広葉樹とマツ・スギといった針葉樹が加わって極相林を形成しています。奈良の春日原始林がほぼこれにあたります。

しかし、これは内陸部の話で、住吉公園のような海浜部では全く様子が違うことは、本誌第13号で紹介しました。このような自然条件に人工的な植林などの人為が加わって、林相に大きな変形が起ってきます。例えば、信仰が基

礎になり、地域に特有な植生が保持されている吉野山がこの良い事例です。本尊の蔵王権現を刻んだサクラを御神木として、吉野山にお参りする時に「桜の苗」を購入・勧進し、地元住民が維持管理したために、現在のような桜の名所が出来上がりました。一方、住吉の地では、海浜部の極相林を成すクロマツが主体となり、植生に変化はありません。現に、万葉の時代の「叢松原」が江戸初期の『住吉潮干図』絵巻に描かれ、紀州街道や熊野街道に沿った町家の拡大による松原の後退が認められるものの、植生的にはクスノキを交えた松原の状態が保持されています。

ところが、宝永元年(一七〇四)の大和川付替えにより沿岸部への土砂の流入、堆積が進行し、新田開発による埋立てにより住吉の浜が次第に海から遠ざかり、松林の衰退が始まったと思われまます。天明期には、この状況を惜しんだ狂歌師の加倍仲塗や大伴大江丸らによって松の苗を購入し、献詠する松苗勧進運動が始まり、約80年間にわた



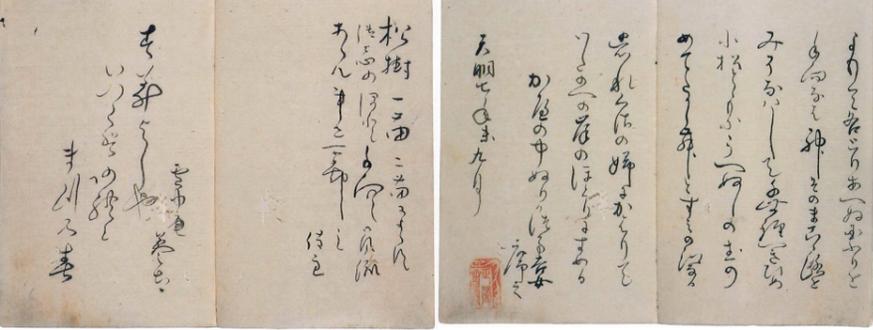
昭和22、23年頃の松苗神事 住吉大社提供 昭和15年に今里新地により松苗神事が開始され、芸妓が松苗女(め)として神事に奉仕しました。昭和29年を最後に奉仕はなくなりました。



令和5年の松苗神事・奉植式 住吉大社提供 4月3日に斎行される植樹・献詠の神事。昭和34年より献詠俳句朗詠が加わり、現在は、白拍子・熊野舞が奉奏、献詠 俳句朗詠に続いて、奉植式において若松の苗に土を盛ります。

からの寄附以外に鉄道会社の記述はありません。さらに、府議会でも問題視された買収価格が及ぼす影響から考えますと、個人ではなく候補地付近全体の地主が公園を誘致し、集客施設の公園整備による地価の上昇を狙ったとも考えられます。つまり、大阪府が公園用地を探していた時と合わせて、多くの地主が主体となり阪堺電鉄と共に公園を誘致したのではないのでしょうか。(荒木美喜男)

本書の構成
第一章 住吉大社と住吉公園
第二章 絵図や古写真からひもとく風景
第三章 まちの成り立ちと発展の中で
第四章 都市公園としてのあゆみ
第五章 植生や地形からみえる風景
甦る光景 八名の方から聞く地域の戦前・戦後 住吉公園・住吉大社の歩み(関連年表)
住吉公園管理事務所にて好評発売中です!
※税込価格4,180円のところ、4,000円で販売しております。
問い合わせ:住吉公園 管理事務所 (06) 6671-2292
数量に限りがあるため、お早めにお求めください。



『松苗集』序文・本文冒頭部 住吉御文庫所蔵 右は加部仲塗の妻吉女による序文の後半部。全釈文『詞花和歌集』の住吉神詠にあるように、住吉の松と君が代を祝う言葉に倣って、この神域に松苗を植え添えることを勧進します。その上さらに、各人がすぐさま歌句を神前に手向けるならば、神はその真心をご覧になられ、千年の時を経てきた姫小松とともに、植主を言祝いでくださるものと、住の江にある忘れ草の女人を代表して、その端の隅の岸のほとりに住んでいる加倍仲塗の妻吉女が本書の序といたします。天明7年(1787)9月。左は大伴大江丸による催文と献詠句。催文「松の木の一苗、二苗といった数は問いませんので、御志によって、手向の風流の歌句をお願いいたします。催主」

- ※1 加倍仲塗(かべのなかつら) 一七九一〜一八三三 江戸中期の狂歌師、俳人。住吉の松苗勧進の提唱者。江戸で油石灰を商う。天明初期に、住吉の松が枯れゆくのを惜しみ、妻吉女とともに俳人の大伴大江丸に相談し、住吉社頭に茶屋を設け、松苗勧進を開始。松苗を献木した植主に和歌・俳句を募り、『松苗集』を奉納。
※2 大伴大江丸(おおともえ) 一七三二〜一八〇五 江戸中期の俳人。大坂や江戸で飛脚問屋を営み、天明から寛政年間に俳壇で活躍。加倍仲塗の妻吉女の相談を受け、松苗勧進を開始。
※3 『松苗集』(まつなえしゅう) 松苗勧進の奉納歌句集で全13編14冊(住吉御文庫所蔵。天明七年(一七七七)から享和三年(一八〇三)五月までの第12編を加倍仲塗、妻吉女、大伴大江丸が勧進。

発行:都市公園住吉公園指定管理共同体 (株式会社美交工業・NPO 法人釜ヶ崎支援機構) お問い合わせ:住吉公園管理事務所 電話 06-6671-2292

編集委員:水内俊雄(代表、大阪公立大学)、小出英詞(住吉大社) 寺田孝重(刘田土地改良記念コミュニティ振興財団) 繁村誠人(NPO 法人 国際造園研究センター) 櫻田和也(NPO 法人 remo 記録と表現とメディアのための組織) 荒木美喜男(大阪府庁公園 OB)



「甦る光景」拾遺 その1

先日出版した、水内・小出編著『住吉公園と住吉さん』では、この「歴史探訪」で取り組

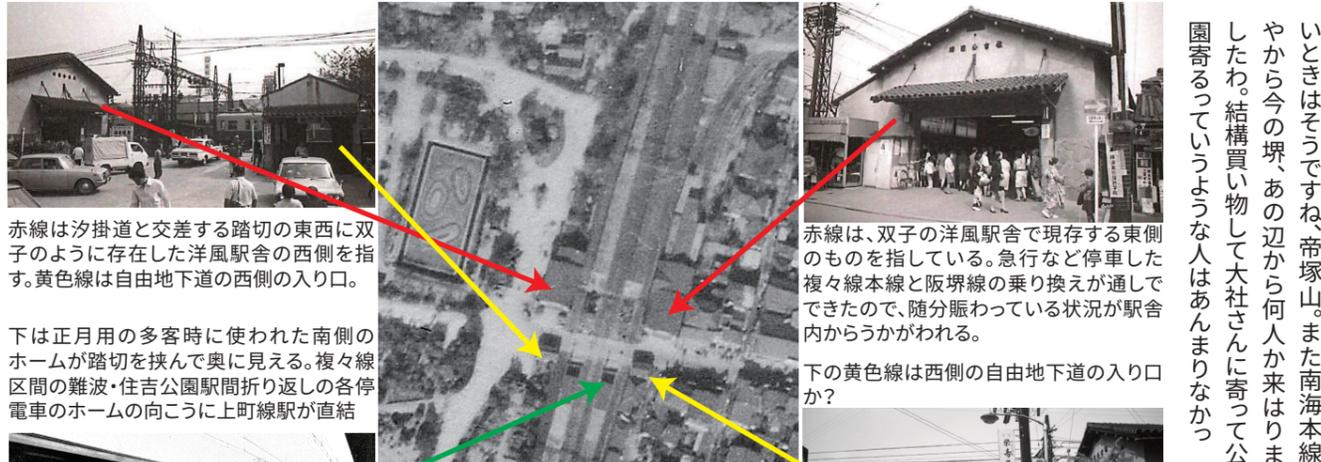
【戦時中】

安達さんは軍隊召集を経験していない数少ない方で、粉浜国民小学校を卒業後、初

【八月十五日】

日本橋の元松坂屋(現高島屋別館)の地下が住友の航空機分品工場だったときの回

うんですよ。僕だけ残った。皆行きよるのにな。日本人の若い男手がほとんど地元にな



昭和30年代前半の小島宗治空中写真(大阪公立大学都市科学・防災研究センター)にみる住吉公園駅の構造

住之江公園は何故あの場所か 社会情勢から検証する

住之江公園誕生は歴史探訪第4号で詳しく紹介しました。しかし、住之江公園が

【大正末期の大府議会で議論】

大正十四年(一九二五)十二月の大府府議会で、知事は十五年度予算の中で住吉公

【理事の答弁】

(イ)については、理事から「都市計画道路で分断、縮小されるので」市民の利用状

「当時の社会情勢」

当時は、第一次世界大戦(一九一四年〜一九一八年)の好景気から次第に景気が

【地図から読み解く】

図1は、現住之江区周辺が新田開発され、土地が区画整理されていく状態を名称と

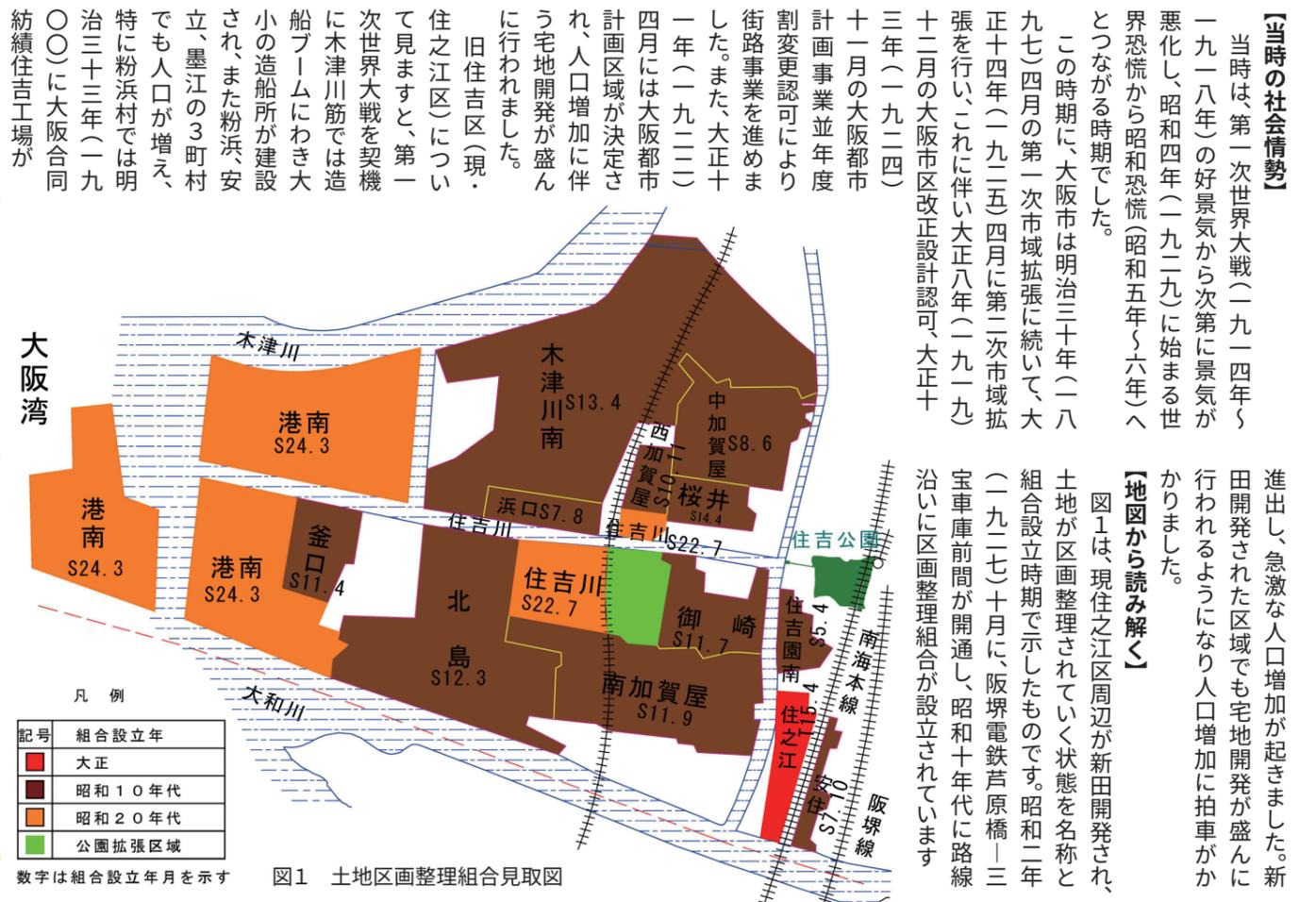


図1 土地区画整理組合見取図